

第 154 回幹事会 議事録

日本光学会 (応用物理学会)

日 時 : 平成 10 (1998) 年 5 月 14 日 (木) 14 : 00 ~

17 : 10

場 所 : 応用物理学会会議室

議 事 :

1. 報告事項

1-1. 「光学」編集委員会報告

- ・原稿料の扱いについては幹事会の意向に沿って、今年度は支払わないことになった。
- ・但し、査読と閲読への謝礼の扱いと謝意の表現についてを含め、今後については引き続き編集委員会で検討する。
- ・カラー印刷に関しては、その必要性を編集委員会で議論した上で、必要に応じて補助費を出していくことになった。
- ・毎月 10 日発行が基本であるが、原稿が締切 (2 か月前の 15 日) に対して遅れ気味のため発行も遅れ気味である。
- ・A 4 化したことで出版業務自体が遅れていることもあるのではないかと指摘があった。

1-2. 「OPTICAL REVIEW」編集委員会報告

- ・発刊は、予定通り進んでいる。
- ・投稿数が現状では毎月発刊には足りないため、隔月発刊とせざるを得ない状況である。
- ・投稿数の約 8 割は日本光学会会員であり、投稿数増、会員増のためには会員外比率を増やす努力が必要と考えている。
- ・ホームページは開設以来、アクセス数は 18 万件に達している。内 40% は海外からのアクセスである。
- ・3 月 30 日に編集委員会、出版委員会が開催された。
- ・編集委員の任期は 4 年 (2 年で半数入れ替え) を基本としている。
- ・編集委員長は 2 名体制とするが、内 1 名の編集委員長の任期は 2 年とし、もう 1 名の編集委員長は当初 2 年間は出版委員長も兼ねている。
- ・昨年度までの運営委員会を改め、出版委員会となった。また、出版委員会の存在アピールも兼ねて、今年度 No. 2 号から明記している。
- ・機関購読の問題解消のため、特別会員に改めることが決定した。
- ・学会事務センターとの契約が 9 月で切れるが、今後に関して具体的に議論することになった。

1-3. 第 23 回光学シンポジウム進捗報告

- ・プログラムが配布された。日時は 6 月 25・26 日、場所は東京大学生産技術研究所で開催される。
- ・従来から、エンジニアリングオプティクスを中心としたシンポジウムとなっており、今回も、初日はその内容を踏襲したが、新しい試みとして 2 日目に光ディスクをテーマとしたスペシャルセッションを設け、特徴を出すべく考慮した。
- ・今年度から予稿集に広告 (1 ページ 3 万円、内 7 割が収入) を載せることにしたため、参加費を昨年に比べて 500 円値下げした。
- ・日本光学会のホームページにアブストラクトを公開することになった。講演者には、その旨連絡し、了解を得ている。

1-4. OPTICS JAPAN '98 進捗報告

- ・9 月 18・19 日に岡山理科大学にて開催される。会場の都合により、ポスターセッションは行わない。
- ・現在、プログラムを練っている最中であり、プレナリー講演の推薦を募集中である。
- ・一般セッションとしては、特別講演 1 件、各研究グループの企画によるスペシャルセッション、自主企画 (薄膜関係) によるスペシャルセッションで企画検討中である。
- ・広報活動は順調に進んでいる。
- ・できる限りパラレルセッションにならないよう、最大でも 6 会場とするとともに、講演時間を従来の 20 分から 15 分に短縮することを考えている。
- ・この件に関して、各幹事から「パラレルセッションをさけるためにもポスターセッションを設けたらどうか」「講演時間短縮は OJ の魅力が損なわれるのではないか」との意見が出された。
- ・これらの意見に対して、実行委員長より「ポスターセッションを行わないことは告知済みであり、また会場の都合がどうしてもつかない」「時間短縮に関しては 15 分で十分であるという意見もあるので、今回は 15 分で試行したい」旨説明がなされ、了承された。

1-5. 国際協力関係に関する報告

- ・SPIE-OSA-OSJ のジョイント名簿登録者は約 1,000 名に達し、名簿の校正刷ができあがったが、郵便番号の 5 桁から 7 桁への訂正が必要である旨、報告された。
- ・SPIE の特典は既に受けられるのかという質問があった。

- ・この件に関しては、ジョイントメンバーに登録した人は既に受けられることが確認された。(基本的には名簿登録が必要である。このアナウンスは今後定期的にホームページに掲載することが必要である旨、確認された。)

1-6. ICOSN '99 準備状況報告

- ・資料に沿って経過説明が行われた。
- ・日本光学測定器展(ナノフェア)の10ブース分が日本光学学会のために無料提供され、展示費が日本光学学会の収入となるため、その収入を会場費に充てられる。
- ・参加費はSPIEに任せると手数料を取られるため、日本光学学会で集めることにする。
- ・参加費は、35,000円(99年4月15日以前)、40,000円(99年4月16日以後)とし、学生は10,000円を予定している。
- ・各委員の委嘱は、基本的には日本光学学会幹事を中心に考えている。
- ・主なスケジュールは、アブストラクト締切：98年9月30日、プログラム原稿締切：98年11月2日、プロシーディング原稿締切：99年2月11日となっている。

1-7. ODF '98 (光設計研究グループ) 開催報告

- ・光設計研究グループ主催のODF '98開催に関し、報告された。
- ・6月15・16日に東京で開催される。
- ・参加目標は100名(70名以上)を予定している。
- ・「光学」5月号にプログラムを掲載している。

1-8. ホームページワーキンググループ報告

- ・小宮山印刷とホームページ保守契約を3月27日に結んだ。
- ・メンバー4名の役割が紹介された。
- ・5月8日より光学シンポジウムのアナウンスが公開されている。
- ・5月10日にアクセスカウンタが設置された。
- ・毎月10日更新が原則ではあるが、速報性が必要な場合は随時掲載される。
- ・関連報告として、庶務幹事より今後会合案内の英文を併記すれば、応物の英文ホームページにも掲載してくれる旨、報告された。

1-9. 光学論文賞募集要項

- ・今年度の光学論文賞募集要項が紹介された。
- ・昨年と異なる点は、候補論文別刷2部が6部必要になったことである。
- ・締切は、10月31日(土)必着とした。
- ・結果は「光学」第28巻第2号で発表される。

1-10. 幹事会名簿、スケジュールの報告

- ・幹事会名簿、スケジュール表が配布され、内容説明が行われた。

1-11. 共催、協賛の件

- ・計測自動制御学会、International Committee of POFへの協賛が報告された。
- ・ISALO '98から協力要請がある旨報告があり、協賛が承認された。

2. 審議事項

2-1. サマーセミナー関連報告、サマーセミナー予算案報告

- ・今年度、4年ぶりに第32回サマーセミナーを開催することとなり、計画案が示された。
- ・テーマは、「光科学と光工学の過去・現在・未来」、日程は8月20日から22日の3日間、場所は山王閣(長野県下諏訪)にて開催することになった。
- ・会計幹事から予算案が示された。急な話であったため、従来使用していた山王閣に連絡したところ、空きがあったため100名分確保した。料金は、一泊10,000円(3食付)、懇親会費2,000円のため2泊で計22,000円となる。また参加費は47,000円である。
- ・宿泊料、参加費に関し、各幹事から高いのではないかとの意見が多く挙がったため、宿泊料に関して幹事長に交渉していただくことになった。
- ・さらに、企業の費用処理の都合があるため参加費、宿泊費は分けたらどうかという意見もあったため、参加費に関しては内訳を明記することになった。
- ・以上の審議を経て、開催が承認された。

2-2. 講師謝礼規定改定の提案

- ・講演料を現在の350円/分から250円/分に変更したい、さらに今年度から適用したい旨、提案された。
- ・各幹事よりさまざまな意見が出されたが、最終的に幹事長より、応物の規定と照らし合わせ、大差がないようであれば了承する旨の意見が示された。

2-3. 幹事会議事録の「光学」掲載に関する提案

- ・幹事会の活動を会員に伝えるため、また過去の活動を容易に確認できるようにするため、今後幹事会の議事録を「光学」に掲載するとともに、製本して応物に保管する旨、提案され承認された。

2-4. 光学会重要備品の管理場所

- ・新年度となり保管場所が一部変更になったため、「日本光学学会印」「日本光学学会幹事長印」「OSJロゴマーク」の今年度の保管場所が報告された。

2-5. その他

- ・従来、カラーフォーラム担当幹事、記録担当幹事は任期2年1名であったが、他の幹事同様に正/副を設定し1年

間はオーバーラップさせたほうがよいのではないかと提案され、了承された。

—以上—

平成 11 年度幹事立候補者募集

平成 11 年度新選出幹事(任期 2 年, 毎年半数交代)の候補として, 本会の運営に熱意のある会員の方々の立候補を希望いたします。役員選挙その他に関する内規は本号 488 頁をご覧ください。立候補は自薦・他薦を問いませんが, 他薦の場合は本人の承諾を必要とします。立候補照会および問合せ先は庶務幹事の 小方康司までお願いします。立候補締切は平成 10 年 9 月 4 日(金)です。

庶務幹事 小方康司

〒192-8512 八王子市久保山町 2-3

オリンパス光学工業(株) 光学技術部

電話 0426-91-8088 Fax 0426-91-7573

E-mail: y_ogata@ot.olympus.co.jp

平成 10 年度光学論文賞受賞候補者の募集

応用物理学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し, 下記のごとく光学論文賞を贈っています。光学論文賞規定については, 本号 487 頁をご覧ください。平成 7 年度からの光学論文賞規定の改訂により, 光学論文賞は公募に応じた自薦, 他薦の候補者から選考されます。

受賞対象者: 原則として表彰の年に満 40 歳未満の日本光学会会員あるいは応用物理学会会員。

提出書類: 候補者の氏名, 会員番号, 生年月日, 満年齢(公募締切日における), 勤務先, 勤務先所在地, 自宅住所, 連絡先, 推薦理由(自薦他薦を問わず, 論文の特徴, 優れた点等を 400 字程度でわかりやすく記す), 候補論文別刷 6 部(コピー可, 関連論文があれば 2 編以内でそれらの別刷またはコピーを 1 編につき 6 部ずつ添付), 他薦の場合は推薦者の氏名, 勤務先, 勤務先所在地, 連絡先。

書類提出期限: 平成 10 年 10 月 31 日(土) 必着

提出先: 日本光学会庶務幹事 吉川 浩

〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1

日本大学理工学部電子工学科

電話 0474-69-5391 Fax 0474-67-9683

E-mail: hiroshi@ecs.cst.nihon-u.ac.jp

結果は「光学」第 28 巻第 2 号において発表されます。

OPTICAL JAPAN '98 in 岡山

日本光学会の学術講演会である OPTICS JAPAN '98 を,

1998 年 9 月 18 日(金)・19 日(土)に岡山理科大学で開催することを予定しております。詳細については, 第 27 巻第 7 号綴じ込みの案内をご覧ください。

●第 69 回微小光学研究会

日時: 1998 年 9 月 3 日(木) 10:00~16:30

場所: 東京大学生産技術研究所 3 階第 1・第 2 会議室

(東京都港区六本木 7-22-1, 地下鉄千代田線乃木坂駅下車徒歩 3 分, または地下鉄日比谷線六本木駅下車徒歩 8 分)

テーマ: 微小光学と画像表示・画像処理

演題:

- 1) 【特別講演】ディスプレイ総論
谷 千束 (NEC)
- 2) 光散乱導光体応用 LCD バックライト
小池康博 (慶応大)
- 3) 液晶プロジェクタへのマイクロレンズアレイの応用
浜田 浩 (シャープ)
- 4) 焦点調節補償機能を有するヘッドマウントディスプレイ
杉原敏昭 (エイティアール)
- 5) 超多眼視領域における立体動画表示
梶木善裕 (通信放送機構)
- 6) シースルーディスプレイとホログラム照明板
武富義尚, 浅川史朗 (松下電器)
- 7) 多重断層ホログラムによる医用立体画像表示システム
本田 凡 (コニカ)
- 8) コーンビーム CT を用いた心臓血管の 3 次元動画画像再構成
小尾高史 (東工大)
- 9) 光学式指紋認識
豊田晴義 (浜松ホトニクス)
- 10) 多重相関光学系を用いた道路標識検出
松岡克典, 谷口正樹 (大工研)

(研究会のプログラムは, ホームページ <http://www.din.or.jp/~microopt/>でもご覧いただけます。)

参加費: 一般 4,000 円, 学生 1,000 円(資料代を含む)

当日ご持参ください。

参加申込み: 不要(直接会場にお越しください)

問合せ先: 浜中賢二郎(マイクロオプト)

電話 0427-75-1563 Fax 0427-75-1575

E-mail: nsg11187@taxp2.nsg.co.jp

人事公募

●立命館大学理工学部光工学科教員公募

公募人員：教授または助教授1名

所属：理工学部光工学科

専門分野：光情報機器(ディスプレイ, 画像入力デバイス, 立体像表示, 光コンピューティング等).

大学院も含めた専門分野の講義のほか, 学部学生実験などの指導も担当可能なこと.

応募資格：博士の学位を有し, 50歳以下が望ましい.

着任時期：1999年4月1日

応募締切：1998年10月30日

提出書類：1) 履歴書, 2) 研究業績一覧(著者名, 論文題目, 掲載雑誌名, 巻, 号, 頁, 年, 査読付き論文とその他の論文の区別), 3) 主要論文別刷, 4) 研究, 教育についての抱負(2000字以内)

書類送付先：〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1

立命館大学理工学部電気電子・光系 学系長

浮田宏生 電話 077-561-2842

E-mail: ukita@se.ritsume.ac.jp

「教員応募書類」と朱書き, 簡易書留で郵送してください.

なお, 選考後, 健康診断を受けていただくことになります.

●東京農工大学工学部電気電子工学科教員公募

公募人員：助手1名

所属講座：電気電子システム工学講座

研究分野：光計測, 光信号処理, 光情報処理, 光通信

応募資格：システム指向の光学実験を新たに立ち上げる熱意があり, 学生の指導を行える方. 博士の学位を有するか取得見込の方.

着任時期：決定後なるべく早い時期.

提出書類：1) 履歴書, 2) 研究業績リスト, 3) 論文別刷(5編以内), 4) 現在までの研究経過と着任後の研究計画, 5) 参考意見を伺える方2名

応募締切：1998年9月15日(火)

送付・問合せ先：〒184-8588 小金井市中町2-24-16

東京農工大学工学部電気電子工学科 黒川隆志

電話 042-388-7292 E-mail: tkuro@cc.tuat.ac.jp

郵送の場合は「応募書類」と朱書き簡易書留のこと.

訂正

「光学」第27巻第7号光学会 news の新入会員名簿に誤記がありました. 下記のとおり訂正します.

p. 405 右段2行目

A 6103049 永田 信一 レンズ星

→ レンズ屋

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学工学部情報画像工学科 羽石秀昭

電話 043-290-3263 Fax 043-290-3262 E-mail: haneishi@ics.tj.chiba-u.ac.jp

なお, 掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで, 開催日が1~10日の場合は, 開催日の3か月前の15日までをお願いします.

日本光学会 学生会員入会半額キャンペーン

「光学」のA4判化を記念して、学生会員半額キャンペーンを実施中です。キャンペーン期間中に日本光学会の学生会員に入会すると、本年度の会費が半額（通常6,000円の会費が3,000円）になります。この機会に多くの学生諸君が入会されることを希望いたします。

期 間：1998年9月末日まで

特 典：通常の特典に加えて、本年度分の会誌「光学」と欧文誌「OPTICAL REVIEW」をバックナンバーを含めて配布します。

申込み方法：下記へご連絡ください。申込用紙を送付いたします。

日本光学会（応用物理学会）

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-3 九段北ビル5階

電話 03-3238-1043 Fax 03-3221-6245 E-mail: jsapdiv@mb.infoweb.or.jp

日本光学会 平成10年度幹事（*常任幹事）

幹事長：	山口 一郎*（理研）	
副幹事長：	武田 光夫*（電通大）	
庶務幹事：	小方 康司*（オリンパス）	吉川 浩*（日本大）
	栗田 裕之*（日本KLA）	羽石 秀昭*（千葉大）
	山崎 敬之*（コニカ）	
会計幹事：	山本 昌邦*（キャノン）	栗木 一郎*（東京工業大）
『光学』編集幹事：	伊東 一良*（大阪大）	志村 努（東京大）
	伊藤 雅英（筑波大）	菊田 久雄（大阪府立大）
『OPTICAL REVIEW』編集幹事：	朝倉 利光*（北海学園大）	
国際協力幹事：	吉澤 徹*（東京農工大）	佐藤 平八*（防衛大）
	黒川 隆志（東京農工大）	小椋 行夫*（日本電気）
将来問題担当幹事：	久保田重雄*（ソニー）	河田 聡*（大阪大）
前幹事長：	横田 英嗣（東海大）	
企画・事業担当幹事：	西田 信夫（徳島大）	石川 和枝（上智大）
	玄間 隆志*（ニコン）	須原 浩之*（リコー）
	立野 公男*（日立）	松原 浩司*（電総研）
	浅井 和弘（東北工業大）	北島 巖（福井大）
	伊藤 博（トヨタ）	北川 洋一（兵庫工試）
	今井 洋（九州工業大）	